

JIS Z 3811に基づく

アルミニウム溶接技能者評価試験受験申込書

受付番号	受験番号

(全面のり付)
最近6か月以内に
撮影されたもの
上半身脱帽
写真のサイズ
(縦45mm×横35mm)
パスポート用

アルミニウム溶接技術検定委員会 委員長 殿

JIS Z 3811に基づく溶接技能者評価試験の受験を6項の誓約事項に同意し申し込みます。

1 試験区分	(1:実技と学科) 1:新規 2:実技のみ 3:再認証(更新) 3:再認証(更新) 学科追試の場合、前回受験日、場所:(年 月 日)																																																																																																																	
	2 受験場所	場所名 _____ 受験日 _____ 年 月 日																																																																																																																
3 受験者	個人コード	決まっている方は必ず記入 _____ フリガナ _____ _____ 氏名 _____																																																																																																																
	フリガナ	_____																																																																																																																
	現住所	_____ _____ 電話 _____ Fax _____																																																																																																																
	生年月日	(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (才) _____ 経験年数 _____ 年 _____ か月																																																																																																																
	溶接歴	_____																																																																																																																
	4 受験種類	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th colspan="6">ティグ溶接 裏当て金なし</th> <th colspan="6">ミグ溶接 裏当て金なし</th> <th colspan="6">ミグ溶接 裏当て金あり</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">板</td> <td>基本級</td> <td>11</td><td>TN-1F</td> <td>21</td><td>TN-2F</td> <td>31</td><td>TN-3F</td> <td>41</td><td>MN-1F</td> <td>51</td><td>MN-2F</td> <td>61</td><td>MN-3F</td> <td>71</td><td>MA-1F</td> <td>81</td><td>MA-2F</td> <td>91</td><td>MA-3F</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門級</td> <td>12</td><td>TN-1V</td> <td>22</td><td>TN-2V</td> <td>32</td><td>TN-3V</td> <td>42</td><td>MN-1V</td> <td>52</td><td>MN-2V</td> <td>62</td><td>MN-3V</td> <td>72</td><td>MA-1V</td> <td>82</td><td>MA-2V</td> <td>92</td><td>MA-3V</td> </tr> <tr> <td>13</td><td>TN-1H</td> <td>23</td><td>TN-2H</td> <td>33</td><td>TN-3H</td> <td>43</td><td>MN-1H</td> <td>53</td><td>MN-2H</td> <td>63</td><td>MN-3H</td> <td>73</td><td>MA-1H</td> <td>83</td><td>MA-2H</td> <td>93</td><td>MA-3H</td> </tr> <tr> <td>14</td><td>TN-1O</td> <td>24</td><td>TN-2O</td> <td>34</td><td>TN-3O</td> <td>44</td><td>MN-1O</td> <td>54</td><td>MN-2O</td> <td>64</td><td>MN-3O</td> <td>74</td><td>MA-1O</td> <td>84</td><td>MA-2O</td> <td>94</td><td>MA-3O</td> </tr> <tr> <td>管</td> <td>15</td><td>TN-1P</td> <td>25</td><td>TN-2P</td> <td>35</td><td>TN-3P</td> <td></td><td></td> <td>55</td><td>MN-2P</td> <td>65</td><td>MN-3P</td> <td>75</td><td>MA-1P</td> <td>85</td><td>MA-2P</td> <td></td><td></td> </tr> </table> <p>*ミグ溶接の場合、溶接ワイヤの直径を選択して下さい(1.2, 1.6)mm *MN-2P又はMN-3Pの場合、初層をティグ溶接(する、しない) ()内を○で囲む。</p>	区分	ティグ溶接 裏当て金なし						ミグ溶接 裏当て金なし						ミグ溶接 裏当て金あり						板	基本級	11	TN-1F	21	TN-2F	31	TN-3F	41	MN-1F	51	MN-2F	61	MN-3F	71	MA-1F	81	MA-2F	91	MA-3F	専門級	12	TN-1V	22	TN-2V	32	TN-3V	42	MN-1V	52	MN-2V	62	MN-3V	72	MA-1V	82	MA-2V	92	MA-3V	13	TN-1H	23	TN-2H	33	TN-3H	43	MN-1H	53	MN-2H	63	MN-3H	73	MA-1H	83	MA-2H	93	MA-3H	14	TN-1O	24	TN-2O	34	TN-3O	44	MN-1O	54	MN-2O	64	MN-3O	74	MA-1O	84	MA-2O	94	MA-3O	管	15	TN-1P	25	TN-2P	35	TN-3P			55	MN-2P	65	MN-3P	75	MA-1P	85	MA-2P	
区分	ティグ溶接 裏当て金なし						ミグ溶接 裏当て金なし						ミグ溶接 裏当て金あり																																																																																																					
板	基本級	11	TN-1F	21	TN-2F	31	TN-3F	41	MN-1F	51	MN-2F	61	MN-3F	71	MA-1F	81	MA-2F	91	MA-3F																																																																																															
	専門級	12	TN-1V	22	TN-2V	32	TN-3V	42	MN-1V	52	MN-2V	62	MN-3V	72	MA-1V	82	MA-2V	92	MA-3V																																																																																															
		13	TN-1H	23	TN-2H	33	TN-3H	43	MN-1H	53	MN-2H	63	MN-3H	73	MA-1H	83	MA-2H	93	MA-3H																																																																																															
		14	TN-1O	24	TN-2O	34	TN-3O	44	MN-1O	54	MN-2O	64	MN-3O	74	MA-1O	84	MA-2O	94	MA-3O																																																																																															
管	15	TN-1P	25	TN-2P	35	TN-3P			55	MN-2P	65	MN-3P	75	MA-1P	85	MA-2P																																																																																																		
5 JIS Z 3811 既得資格	種類 _____ 証明書番号 _____ _____ 登録日 _____ 年 月 日 _____ 有効期限 _____ 年 月 日																																																																																																																	
6 資格認証登録に際しての誓約事項	評価試験に合格し、溶接技能者資格を登録するに当たっては、下記に従うものとする。 1 LWS A 0004の関係条項に従う。 2 認証に関する主張を行う場合は、認証された範囲に関するものだけとする。 3 誤解を招きやすい方法で、証明書を使用しない。 4 認証の一時停止又は取消しとなった場合は、認証への言及を含むすべての主張を中止し、証明書を一般社団法人軽金属溶接協会へ返却する。																																																																																																																	
7 事業所	会社コード	_____ フリガナ _____ _____ 会社名 _____																																																																																																																
	フリガナ	_____																																																																																																																
	所在地	_____																																																																																																																
	担当者(連絡先)	フリガナ _____ フリガナ _____ 所属 _____ 氏名 _____ 電話 _____ Fax: _____																																																																																																																
8 料金・送金方法	学科試験料 _____ 実技試験料 _____ 材料・消耗品費 _____ 合計 _____ 円 円 円 円																																																																																																																	
	上記の費用は、次の方法で _____ 年 _____ 月 _____ 日納入します。 (1) 現金書留 (2) _____ 銀行 _____ 支店振込 (3) 申込書と共に協会に持参																																																																																																																	

受験申込書の書き方

写真は、最近6か月以内に撮影した「縦45mm×横35mm（パスポートサイズ）」のものを貼付して下さい。写真はコンピュータで処理して使用しますので4項で申込書が2枚以上になる場合では1枚に貼付し、他は写真箇所「同時受験」と記入して写真は1枚で結構です。

1. 試験区分：該当する番号を○で囲む。学科追試の場合は、前回受験日及び場所を記入。
2. 受験場所：場所名、受験日を記入。
3. 受験者：
 - ① 個人コードは、JIS Z 3811による資格者（5.既得資格参照）は必ず記入。
 - ② 生年月日は西暦で、年月日、満年齢を記入。
 - ③ 経年数は、アルミニウム溶接の経年数を記入、受験には基本級で1か月、専門級で3か月以上の経年が必要。
 - ④ 溶接歴は、経年数に対応する履歴を記入。
例 平成○年○月 ○○会社入社 アルミ溶接作業に従事、現在に至る。
4. 受験種類：今回受験するものの番号を○で囲む。ただし、申込書は、基本級と対応する専門級ごとに、また板と管との区分ごとに、それぞれ1枚必要です。例えば、
TN-1FとTN-1V、TN-1H、TN-1Oのいずれか又は全部を受験する場合、1枚
TN-1FとMN-2Fを受験する場合は、TN-1Fで1枚、MN-2Fで1枚
TN-1FとTN-1Pを受験する場合は、1枚
TN-1F、TN-1VとTN-1Pを受験する場合は、TN-1F、TN-1Vで1枚、TN-1Pで1枚
5. 既得資格：JIS Z 3811による資格をもっている場合は、資格の種類（TN-1F、MA-2FVH等）、証明書番号等を記入。
 - ① 再認証（更新）試験又は基本級を省略して専門級を受験するときは、これに対応する資格を記入。
 - ② 学科試験を省略するときは、1枚の証明書について記入。
（証明書の有効期限が切れていても、学科試験を省略できる）
6. 資格認証登録に際しての誓約事項：この誓約事項に同意のうえお申込下さい。
LWS A 0004は、軽金属溶接協会規格LWS A 0004（アルミニウム溶接技能者の資格認証基準）です。
7. 事業所：個人申込みの場合は記入不要。事業所でまとめて申込み場合に記入して下さい。
 - ① 会社コードは、事業所で資格者のいる場合は、必ず記入。
初めて受験する事業所は記入不要
 - ② 担当者あてに受験に関する通知、合否結果、サーベイランス（継続）・再認証（更新）の連絡を送ります。
8. 料金・送金方法：金額及び送金方法を記入。